

名古屋
支所発

元気いっぱい「わくわくモーモースクール」開催

11月17日(木)、東海酪農業協同組合連合会(伊藤敏之代表理事会長)主催の「わくわくモーモースクール」が開催されました。

今回の訪問は、愛知県半田市立花園小学校。酪農家を見学したいとの先生の要望から本教室の開催が実現されました。3年生を対象とし開催された本教室は、「座学」と「バター作り体験+試飲・試食」を中心に進められました。

「牛のなるほど百科 牛乳が届くまで」と題して開催された教室で

は、酪農家の清水ほづみさんと原田拓芳さんが牛の模型や資料を使いながら、牛の特徴や酪農業について、子供たちに説明されました。

次に名古屋牛乳株式会社 野瀬吉弘常務取締役が消費者に牛乳が届くまでにどのような行程を通り消費者に届くのかについて説明されました。

授業が終わると、子供たちからはたくさんの質問があげられました。中でも多かった質問が、「牛はどのくらいまで生きるの?」と言う質問で、牛も人間と同じ哺乳類であり、人間と同じような個体差があることを丁寧に原田さんは説明されていました。



▲ 原田拓芳さんによる説明

もうひとつの授業は、みどり乳業株式会社の八木義行取締役販売部長の指導のもと「牛乳のはてな? バター作り体験+試飲・試食」と題して、バター作り体験と成分調整牛乳と無調整牛乳の飲み比べを行いました。

バター作りは、あらかじめ冷やして置いた生クリームが入ったコップを一生懸命に振り作ります。出来上がったバターを試食した子供たちは、生クリームから出来るバターを不思議そうに眺めながらも、満足した面持ちで試食していました。

最後に子供たちと一緒に給食をいただき、子供たちとの交流を深め本教室は終了しました。



▲ 手作りバターの試食の様子

名古屋
支所発

愛知県酪農農業協同組合青年女性部 白熱！全体研修会

12月9日(金)、愛知県岡崎市の「愛知県畜産総合センターふれあいドーム」において、愛知県酪農農業協同組合青年女性部(森 富士樹部長)の全体研修会が開催され、愛知県の各地域から50名の参加があり、「ソフトバレーボール大会」と「キャンドル作り」のイベントを行いました。

ソフトバレーボールは男女混合で6つのチームに分かれ、真剣にバレーボールを追いかけていました。当日は一段と冷え込んだ気候でありましたが、参加者は汗だくになりながら、プレーしていました。点が入るとハイタッチで喜び、負けるとうなだれるというまさに一喜一憂そのもの。

また、コート横ではキャンドル作りが行われ、クリスマスも間近に控えているため、参加者は熱心に作り上げていました。

「ソフトバレーボール大会」と「キャンドル作り」を楽しんだ後は、2種類の牛乳鍋で体を温めました。一つ目



▲ ソフトバレーボール大会

の鍋は「三英傑牛乳鍋」。愛知県と言えば歴史上に名高い、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の出身地です。この「三英傑」にちなんで考案されました。三河湾で獲れたワタリガコと名古屋の名産である手羽先。最後に牛ホルモンを岡崎八丁味噌と牛乳で煮込み完成です。二つ目の鍋は「カレーミルク鍋」です。カレーの風味と牛乳がマッチしたまさに「味の総合デパート」です。

その他には、皆さんが作った手作り料理が持ち込まれ、おなか一杯いただき、親睦を深めて、本研修会は終了しました。



◀ キャンドル

▶ 三英傑牛乳鍋



▲ キャンドル作り

レシピが見たい方は、下記を見てください。 東海農政局「地域交流牧場全国連絡会牛乳鍋コンテスト」
http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/edu_farm/H23/gyuunyuunabe.html